

スポーツと地域が融合した 秋田の新しい交流拠点



地域名産品の販売や魅力発信拠点を 指定管理運営

企画力・集客力 を発揮して、地域活性化 に貢献

県内外からの来場による賑わいの創出 により 交流人口の拡大 を図る

商店 / 直売所

地元の新鮮な野菜や秋田の特産品、お土産の販売



レストラン

食堂/スタンド (アイスクリーム屋)/ピロティ (軽食屋)



温泉 (港の湯)

日本海を一望できる温泉施設



オートキャンプ場



コテージ



特徴

地域の食・文化・スポーツが融合した施設

利用者が増加
公共施設が活性化

プロスポーツクラブが自治体から指定管理を受けて、公共性の高い交流拠点 (道の駅) を運営。

ハビネットファンも訪れ施設に賑わいが戻った

企画力・広報力で
複合収益化

施設運営だけではなく、企画力を活かして新コンテンツを次々に開発。直売所の「アサバラ」(朝採れアスパラガス) など次々にヒット商品が誕生した

「アキタウミヨコ」の
新たなファンづくり

秋田ノーザンハビネットの選手との交流イベントは、ビーチクリーンナップ等による新たなアプローチで誘客。クラブとの相互総客から着実にファンを増やした

運営上の課題・失敗談

1. 突発的な自然災害や施設老朽化に伴う修繕費の発生
2. 光熱費・人件費等の高騰
3. 指定管理受託決定からオープンまでの期間の短さによる準備不足

運営面の工夫を行い利用者数を順調に増やすものの、施設老朽化や突発的な豪雨による雨漏り被害が発生してしまいました



B.CLUBが発揮するチカラ

ヒトを動かすチカラ

クラブが持つ集客力・企画力を活かし、利用者をV字回復させた

行政と共に突破するチカラ

行政サービスの重要拠点となる「道の駅」をクラブが運営。運営の質を向上させた

現時点での成果

1. 秋田県内人気上位に
秋田県内道の駅人気投票で、第5位を獲得/全34駅中 (秋田魁新報)
2. 利用者数も大幅に増加
前年度比137%となる約37.5万人の集客を達成
3. ヒット商品の誕生
直売所の「アサバラ」(朝採れアスパラガス)、軽食コーナーの「ジェラート」は人気商品となった



交流人口 # 指定管理 # 地産地消 # コミュニティ # 交流拠点

Keyword !



ビジョンの
仮説構築

地域コミュニティを築き、秋田の未来づくりに貢献する

- ・ Bクラブが生まれ、コンベンションが域内外の交流人口の拡大に活用することが出来るのではないか？
- ・ 特に地域内外から人々を集める集客力や発信力が、道の駅運営と相性が良いのではないか
- ・ クラブとして事業化している、ビールなどの飲食事業との相乗効果があるのではないか



ビジョンの
構築・共有

Bクラブと連携した産業振興

- 由利本荘市観光文化スポーツ部観光振興施設課とのコミュニケーションを通じて、事業検討を具現化
- ・ コンセプトの明確化
 - ・ コンテンツの強化
 - ・ 運営スタッフの強化



PoC

地域に根差した収益事業モデル化

- 多彩なコンテンツの魅力を活かし、クラブの広報力も活用し積極的に情報発信
- ・ コンセプトを明確化しブランディング
 - ・ コンテンツの強化
 - ・ 直売所・売店・レストラン・スタンド等のリニューアル
 - ・ 積極的なクラブイベント実施



事業開発

まちづくりと地域活性化の仕組みづくり

- ・ まちづくりの事業や地域活性化を担う、「ANHソリューションズ株式会社」(100%子会社) を設立
- ・ 専門人材を採用し、試合運営ノウハウと施設運営のノウハウを掛け合わせる仕組みを構築 (横展開可能なモデル作り)



事業育成

「リアルな価値体験」を加え、人が集う事業を展開

- ・ BBQ施設、温泉施設、宿泊施設など、既に「道の駅」機能以上の施設に加え、選手との交流イベントやグッズ販売など、多くのファンのニーズを取り込むコンテンツも拡大
- ・ 既存のコンテンツにクラブの広報発信力を加え、施設や地元産品の魅力をさらにPR

実施スキーム



出資
(子会社)

ANH
ソリューションズ

指定管理



由利本荘市

運営



活用制度

- 指定管理者制度

施設概要

- 住所：秋田県由利本荘市岩城内道川字新鶴崎192-43
- 営業時間：9:00～20:00 (施設による) (休館日／第2水曜)
- Tel：0184-73-2700



Shape the future
with confidence

株式会社アキタウミヨコ
EYはサステナブル・ガバナンス・コンプライアンス
委員会事務局の事務局業務の一部を支援しています。

スポーツによる既存施設のバリューアップ

- ・ ノーザンハビネットのバスケットボール以外のビジネス拡大
- ・ 既存ファン以外の新たな層へPR。交流人口の増加を図る
- ・ エンターテインメントを活用とした施設価値の向上



ANHソリューションズ株式会社
道の駅 岩城 アキタウミヨコ
支配人 野尻 聡 様

公民連携のポイント

人材連携

法制度・許認可

財源

土地の所有・管理

施設の所有・管理

運営方針

市民との合意形成

リスク管理

広報・PR



由利本荘市 観光文化スポーツ部
観光振興課 施設班
小山 成信 様

来場者が増える以上の“新たな活力”に期待

元々ある程度の集客力がある施設でしたが、秋田を代表する秋田ノーザンハビネットさんが運営することで企画力や広報力で、更なる施設の活性化を期待していました。 実際「マスコットの解体ショー」を企画したときは驚きましたね！ 普段見ることが無い迫力のある解体ショーを見に多くの来場者が訪れ、とても賑わっていて、施設の特色でもある海鮮料理を美味しく食べていました。

地域課題も捉えた施設運営

近所に買い物ができるお店が少ないこともあり、スーパーの様に日用品が買える工夫もしてくださっている。その中で、手軽に食べられるジェラートも人気で、プロスポーツチームならではのネットワークを活かし毎月の様にイベントを開催してくださっています。

ビーチクリーンイベントでは、選手もファン200名と一緒に地域貢献活動してくださっていて、行政としても可能な限り、施設運営をサポートしていきたいです。

B.CLUBとの公民連携の秘訣

“道の駅 (公共施設)” を運営する全国でも珍しい事例だからこそ、クラブの施設運営ビジョンなど、行政だけでは実現不可能な提案に対して、対話の姿勢を常に持ち、まちの未来に繋がる提案を実現させていくこと！